

# 謹賀新年



明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、健やかにお正月をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスは、昨年1月に国内初の感染者が確認されて以来、全国的な感染拡大が続いておりますが、このコロナ禍は、各種事業の中止や遅延など、市政運営に大きな影響を及ぼすとともに、市民生活や経済活動に長らく大きな制約を課し、未だ収束の目途が立たない状況です。

こうした中、本市では、国の臨時交付金を最大限活用しつつ、新しい生活様式への転換を図るとともに、感染拡大防止や地域経済の活力回復などに向けた様々な取り組みを続けております。

一方、1300年余の歴史を誇る桐生の繊維産業におきましては、地元事業者がそれぞれの強みを生かしたマスクを製造・販売する動きが盛んになりました。桐生商工会議所が中心となり、「メイドイン桐生のマスク」としてブランド化を進めていますので、本市におきましても、関係機関との連携を図りながら、国内外の市場開拓を支援してまいります。さて、昨年は「幸福実感

度」や「持続可能な開発目標（SDGs）」の観点を取り入れた本市の最上位計画である「桐生市第六次総合計画」、そして人口減少対策及び桐生ならではの地方創生を目指す「第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、現在、両計画を一体的に推進しております。

この新たな指針に基づき、昨年3月には、公民連携による観光まちづくりを推進する拠点として、観光情報センター「シルクル桐生」を開設しました。また今月には、市民の安心安全なスポーツ活動拠点として整備した新市民体育館がオープンし、陸上競技場の改築工事も年度内に完了する見込みです。さらに、長年の悲願でありました新桐生駅のエレベーター設置工事につきましても、東武鉄道との連携により着手できる運びとなりました。ぜひ皆様には、これらの施設を有効利用いただきたいと考えております。

そして今年、令和3年は、本市の市制施行100周年・水道創設90周年の記念すべき年であります。この節目を市民の皆様とともに祝い、新たな100年に向けた明るい未来を描けるまちを目指し、様々な事業を実施してまいります。



す。一例を挙げますと、4月から5月にかけて新川公園ほか市内5か所を会場とする「花と緑のぐんまづくり2021 in桐生 ふるさとキラキラフェスティバル」の開催、9月に市民文化会館を会場とする子どもたちの職業体験イベント「ミニきりゅう」の実施、12月の完成を目指す「未来へはばたけ 山田製作所桐生が岡動物園」のレッサーパング舎新設などを予定しております。

今後も、総合計画に定める将来都市像「感性育み 未来織りなす 粋なまち桐生」を、市民の皆様と共に感じ、共に創ってまいりたいと考えておりますので、これまでと変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

新年にあたり、皆様のますますのご健勝とご多幸を心から祈り申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

新たな100年に向けた、  
明るい未来を描けるまちを目指して

桐生市長 荒木 恵司

桐生市議会

議長

北川 久人

副議長

岡部 純朗

議員（議席順）

石渡 宏明

工藤 英人

飯島 英規

歌代 公司

渡辺 恒

関口 直久

園田 基博

人見 武男

近藤 芽衣

久保田裕一

辻 正男

田島 忠一

丹羽 孝志

山之内 肇

佐藤 幸雄

佐藤 光好

新井 達夫

河原井 始

福島 賢一

周藤 雅彦

明けましておめでとうござい  
ます。

市民の皆様におかれましては、令和3年の新春を穏やかに  
お迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、平素  
より市議会の活動について多くのご支援とご協力を賜り、  
改めて深く感謝申し上げます。  
昨年（2021年）は新型コロナウイルス  
感染症の流行により国内外を  
問わず未曾有の危機に直面い  
たしました。コロナ禍により  
世の中の多くの動きは制約を  
受け、私達はいまだかつて経  
験したことのない多くの困難  
との対峙を余儀なくされてお  
ります。桐生市の魅力を県内  
外に伝える絶好の機会である  
夏の最大イベント「桐生八木  
節まつり」も、本来であれば  
祭りの熱気と興奮を市民の皆  
様と満喫できるところであり  
ましたが、それも開催中止と  
せざるを得ませんでした。  
ご高承のとおり、各地方自  
治体においては、人口減少や  
急速に進行する少子高齢化、  
さらには景気の動向も安定せ  
ず、地域産業においては依然  
低迷が続いている状況です。  
また、地球温暖化の影響によ  
る自然災害の多発と相まって、  
市民生活や経済活動の大きな  
足枷となるコロナ禍と、課題  
はますます大きくなっており

ます。

われわれ桐生市議会におき  
ましては、市民の皆様から任  
せられた議員としての職責  
を全うするため、日々、議会  
改革に取り組んでおります。  
中でも、早稲田大学マニフェ  
スト研究所が毎年行っており  
ます「議会改革度調査201  
9」においては、委員会調査  
活動の充実が大きく評価され  
たことにより、機能強化部門  
で全国第1位、総合で全国第  
4位という非常に高い評価を  
頂くことができました。  
昨年5月には、「新型コロナ  
ウイルス感染症に対する要  
望書」を各常任委員会におい  
て取りまとめ、それぞれ桐生  
市長に提出いたしました。ま  
た9月には、当初予算要望書  
を桐生市議会の総意として桐  
生市長に提出しております。  
どちらの要望書につきまし  
ても、各常任委員会において  
多くの市民の皆様や各種団体  
からいただいたご意見やご要  
望を踏まえ、丁寧に協議を重  
ね作成したものでございます。  
私どもといたしましては、こ  
の困難を乗り越えるためには、  
市民の皆様と共に知恵を絞り、  
共に手を携え解決することが  
肝要であると考えております。  
今後もさらに多くの市民の皆  
様との対話を重ね、桐生市の

持続的発展のため、全力を傾注  
してまいりる所存でございます。  
今年（2022年）は、市制施行100周  
年・水道創設90周年という長  
い歴史の節目の年であり、  
この記念すべき年にあたり、  
決意を新たにして、市政のさ  
らなる発展に取り組んでまい  
りますので、市民の皆様にお  
かれましては、今後ともご支  
援ご協力を賜りますようお願い  
申し上げます。100年の  
歴史を刻む桐生市の新たな歩  
みの第一歩となる令和3年が、  
皆様にとって幸多い年となる  
ようお祈り申し上げます。新年の  
ご挨拶とさせていただきます。

市の持続的発展のため、  
全力を傾注してまいります

桐生市議会議長 北川 久人

